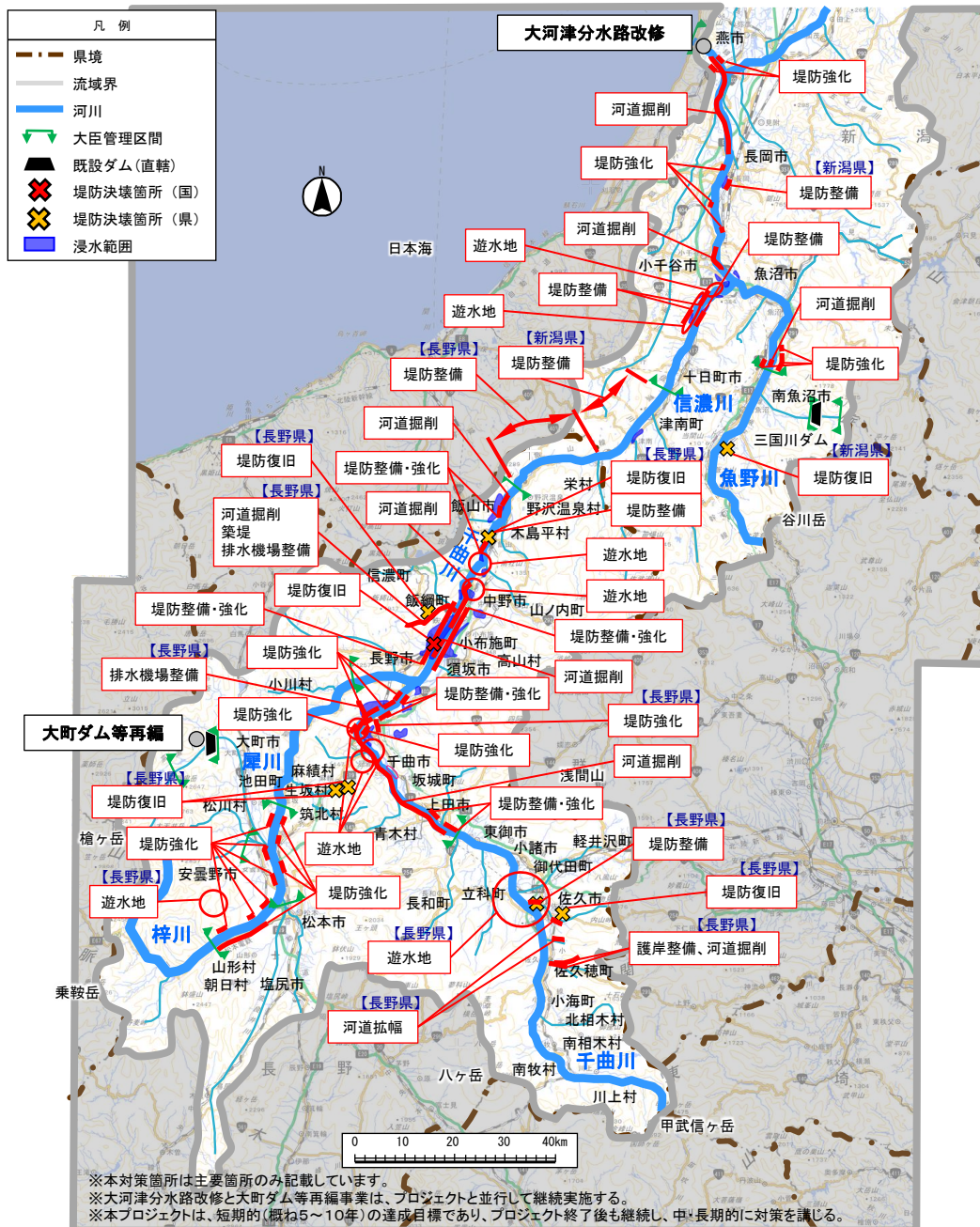


「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進



○令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した信濃川水系において国、県、市町村が連携し、「**信濃川水系緊急治水対策プロジェクト**」を進めています。

○国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】

- ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

■河川における対策

全体事業費	約2,865億円【国：約2,226億円、県：約639億円】
災害復旧	約586億円【国：約214億円、県：約372億円】
改良復旧	約2,279億円【国：約2,012億円、県：約267億円】
事業期間	令和元年度～令和13年度
目 標	【令和9年度まで】

- ・令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における千曲川本川の大規模な浸水被害が発生した区間等において越水等による家屋部の浸水被害軽減
- ・信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止

【令和13年度出水期前まで】

令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における
・千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止

対策内容 河道掘削、遊水地、堤防整備・強化

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※事業費と事業期間については、今後の改良復旧工事の進捗に伴う現場条件の変更等により検討・見直しが生じる可能性があります。

■流域における対策

- ・ため池等既存施設の補強や有効活用
- ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- ・防災拠点等

■ソフト施策

- ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- ・高床式住まいの推進
- ・マイ・タイムラインの普及
- ・公共交通機関との洪水情報の共有
- ・住民への情報伝達手段の強化



長野市穂保地先の堤防決壊、
浸水被害状況

新潟県小千谷市内における
浸水被害状況

※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進

上下流や本川支川の信濃川流域全体を見据え、

- 立ヶ花狭窄部上流の緊急的な堤防強化(粘り強い河川堤防構造)
- 下流から計画的に行う堤防整備や河道掘削(大河津分水路改修、立ヶ花狭窄部掘削)
- 上流で洪水を貯留するダム(大町ダム等再編)や遊水地の整備

といった河川におけるハード対策をフル動員し、各管理者が連携・調整しながら、段階的かつ緊急的に対策を講じます。



立ヶ花狭窄部掘削



堤防強化(粘り強い河川堤防)

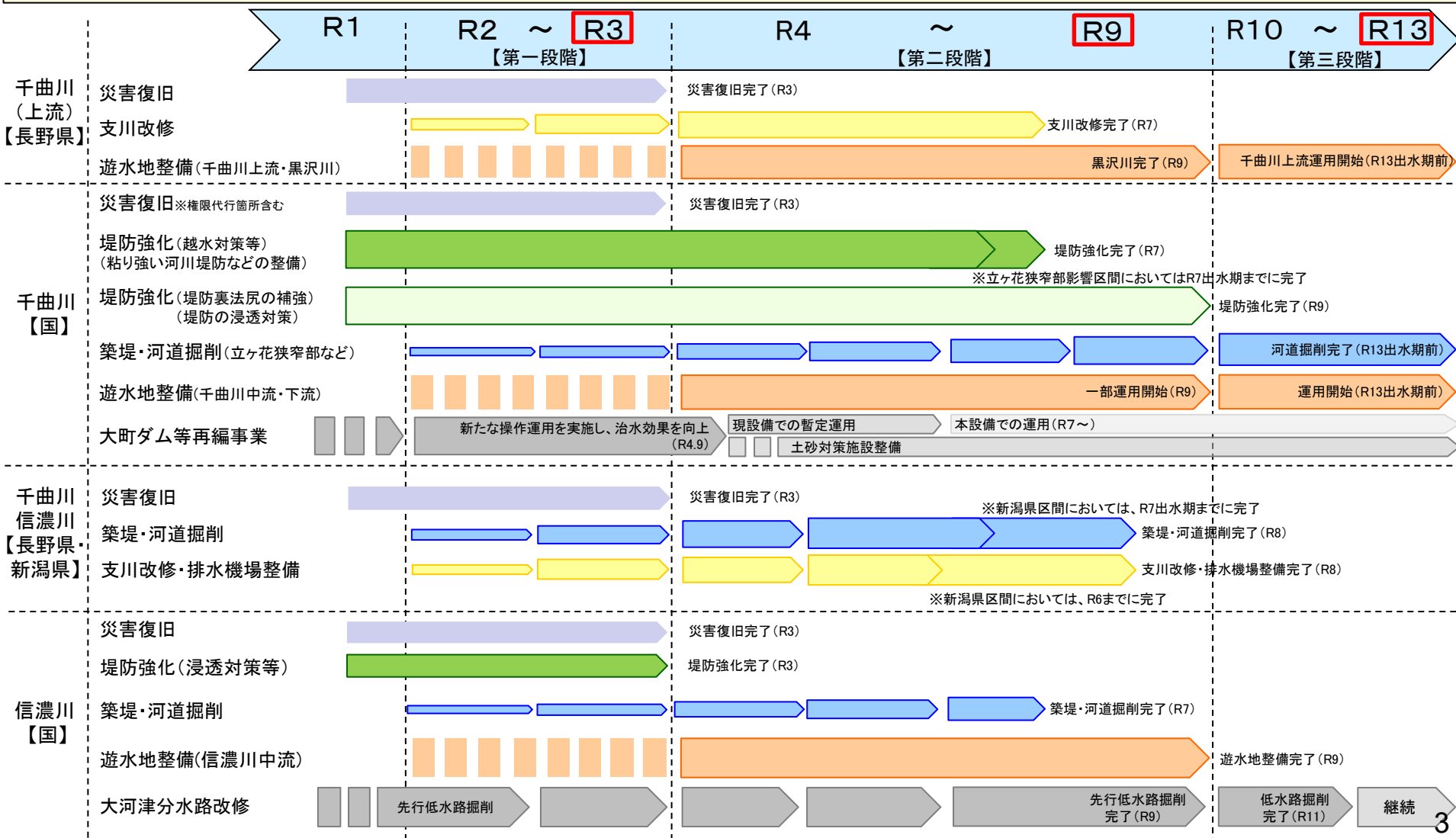


大町ダム等再編事業

凡 例	
	流域界
	県境
	河川
	既設ダム(直轄)
	基準地点(高水)
	基準地点(低水)
	主要な地点
	想定氾濫区域

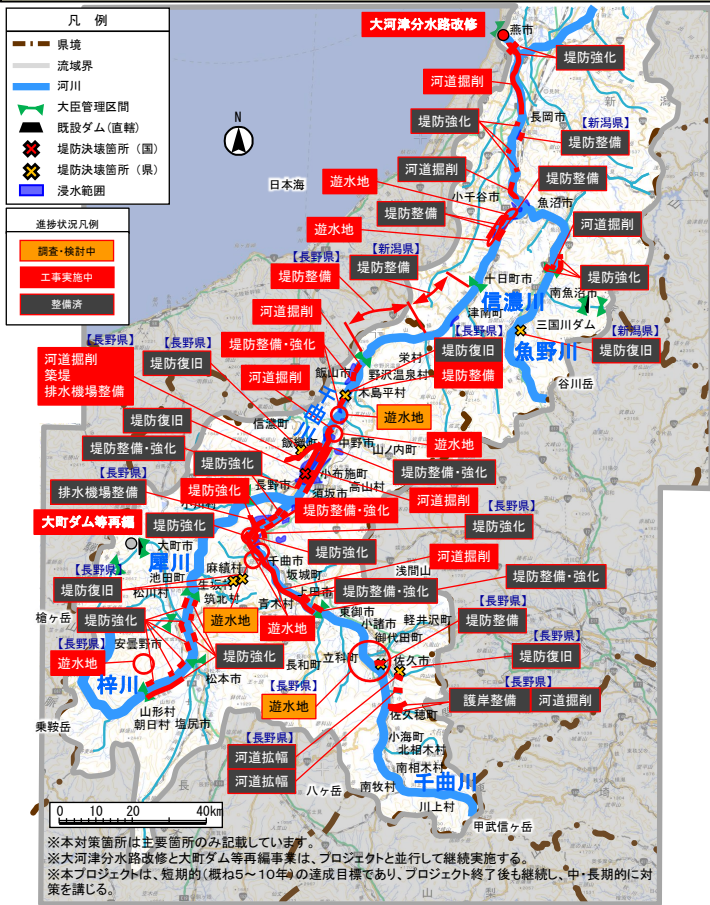


- 【第一段階】 令和元年東日本台風による災害復旧について令和3年度までに完了
- 【第二段階】 改良復旧である堤防強化（粘り強い河川堤防構造など）や大町ダム等再編事業（容量再編）を完了
並びに一部遊水地の運用を開始することで、一定の効果を発現
- 【第三段階】 遊水地、河道掘削（立ヶ花狭窄部など）を令和13年度までに完了
なお、緊急治水対策プロジェクトで目標とする効果は令和13年出水期前までに発現

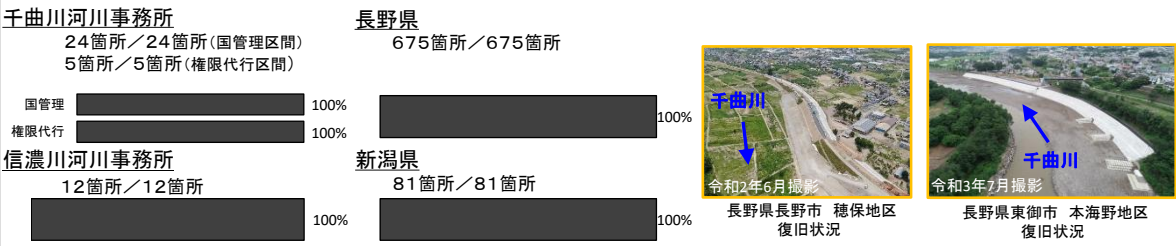


「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進

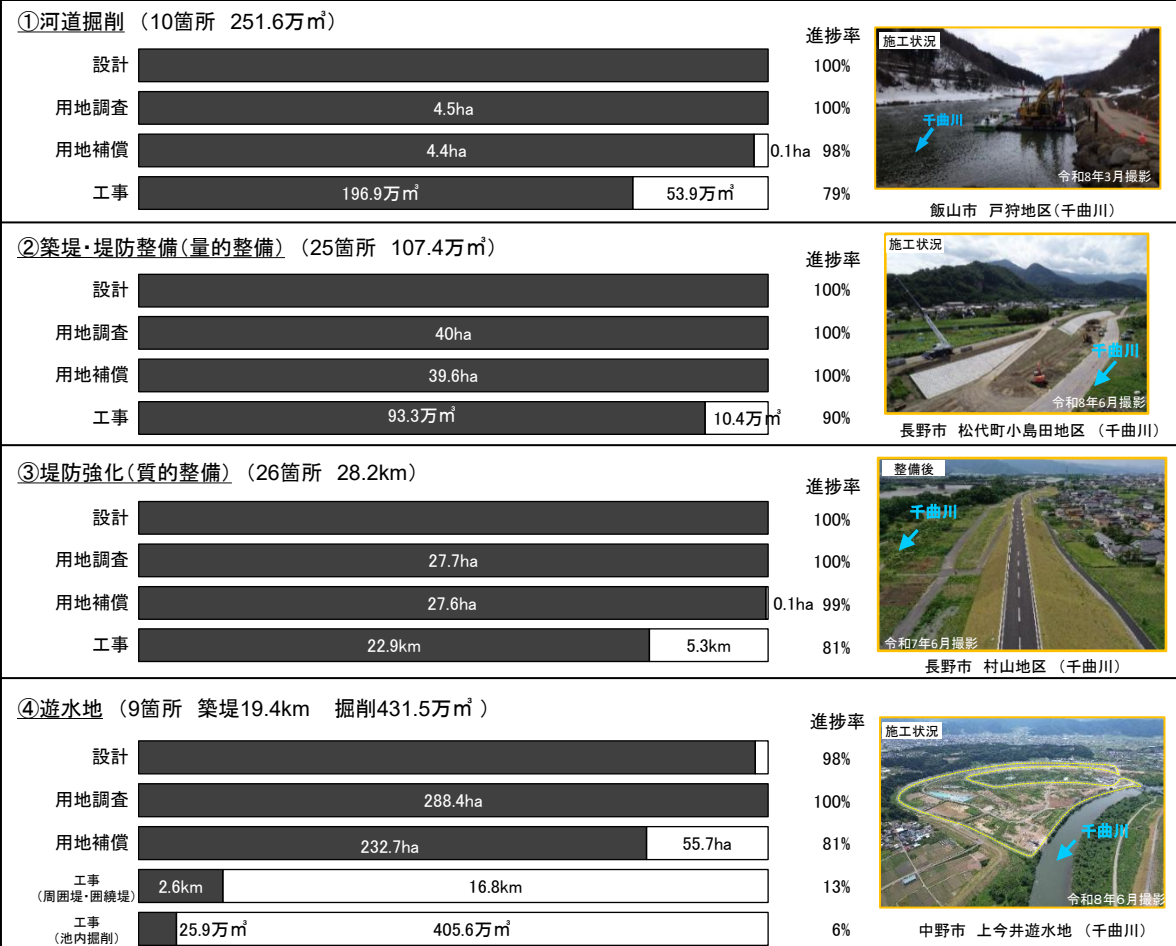
- ◇原型復旧は、全797箇所の中のうち、797箇所完成（進捗率：100%）。
- ◇改良復旧は、河道掘削及び堤防整備・強化を推進中。なお、堤防強化のうち、立ヶ花狭窄部影響区間における粘り強い河川堤防は、令和7年度出水期までに完了。
- ◇遊水地は関係者（地元）説明会を開催し、丁寧な説明を行いつつ、調整が図られた箇所から整備を推進中



原型復旧の進捗



改良復旧等の進捗



「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進

【最近の動き(長野県)】



105: 佐久市 滑津川

【最近の動き(長野県)】



102: 佐久市 谷川



【最近の動き(長野県)】



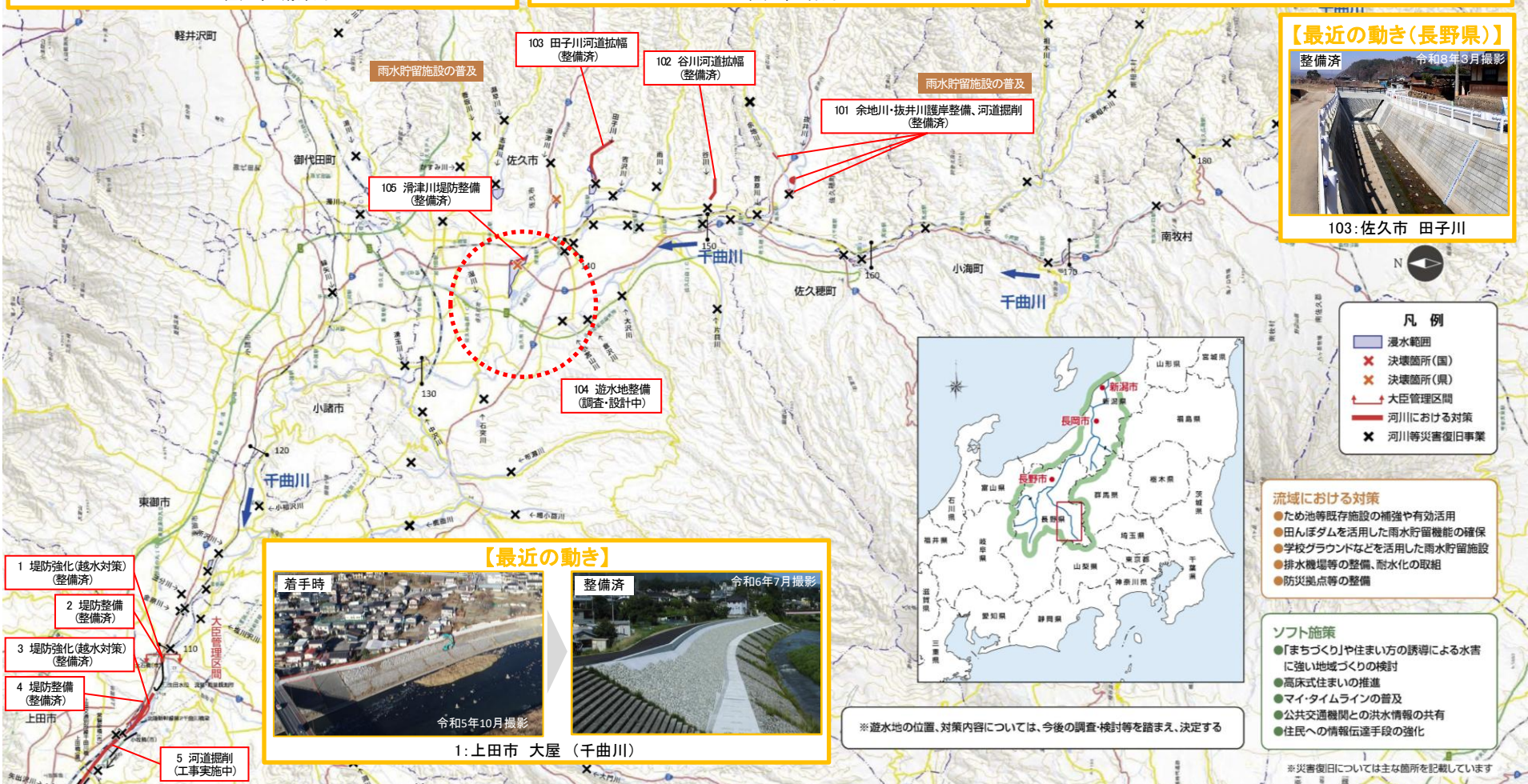
101: 佐久穂町 余地川



【最近の動き(長野県)】



103: 佐久市 田子川



【最近の動き】



1: 上田市 大屋 (千曲川)



※遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する

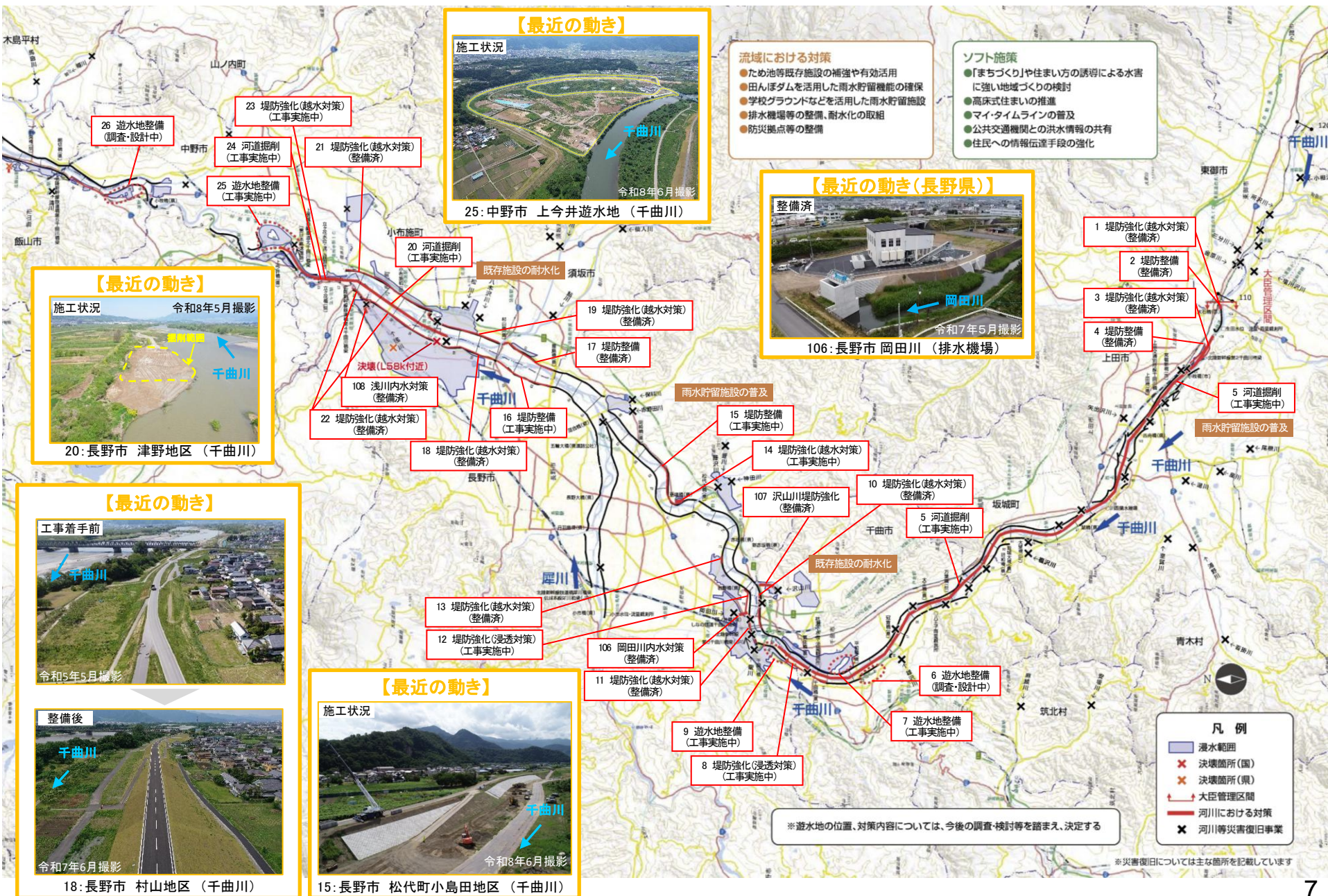
- 流域における対策
- ため池等既存施設の補強や有効活用
 - 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
 - 学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
 - 排水機場等の整備、耐水化の取組
 - 防災拠点等の整備

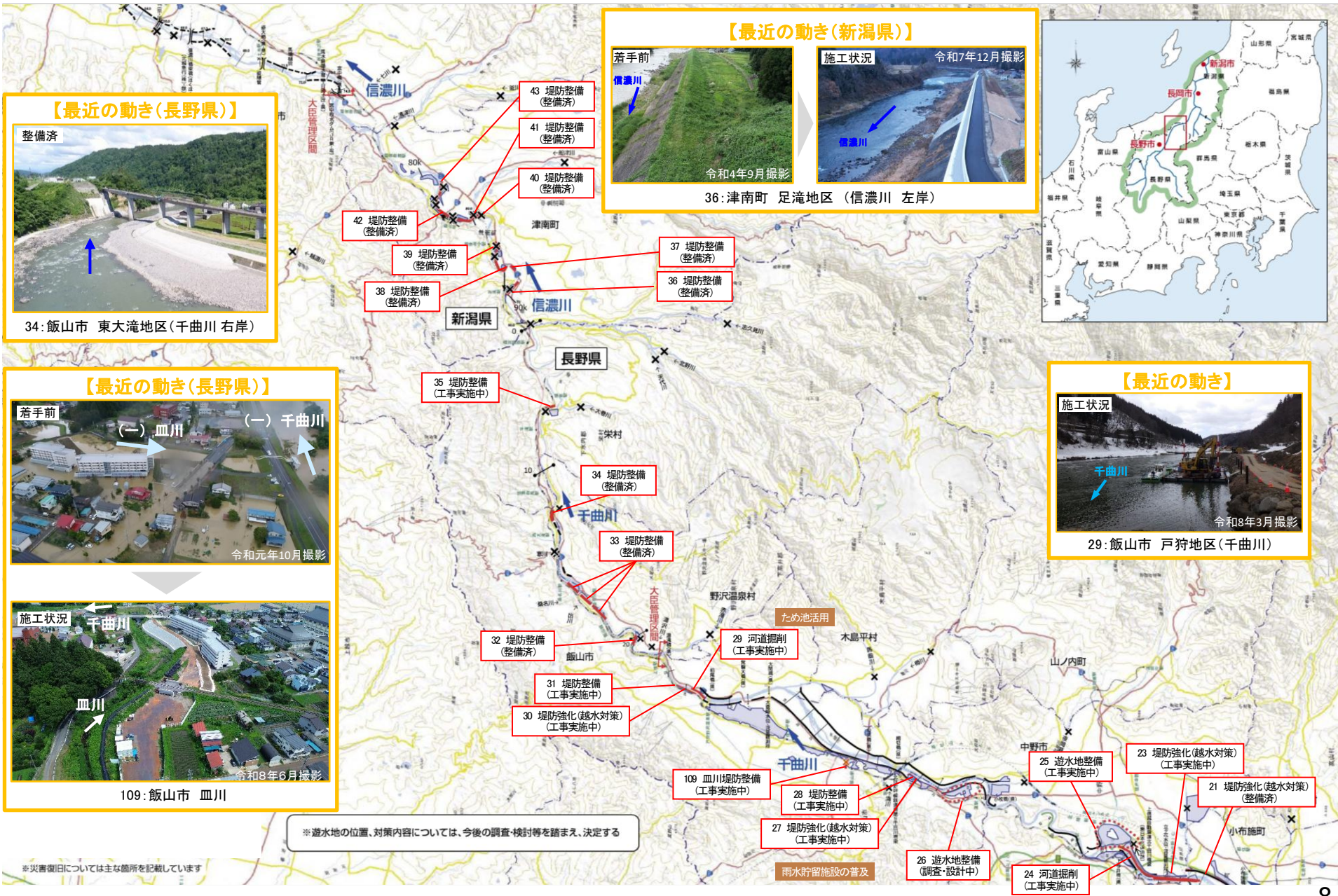
- ソフト施策
- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
 - 高床式住まいの推進
 - マイ・タイムラインの普及
 - 公共交通機関との洪水情報の共有
 - 住民への情報伝達手段の強化

※災害復旧については主な箇所を記載しています



「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進





【最近の動き】



令和3年10月撮影



令和8年4月撮影

49: 小千谷市 東栄地区
(信濃川 右岸)

流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

田んぼダム等の雨水貯留活用

排水機場整備

魚野川

49 河道掘削
(整備済)

50 堤防強化(越水対策)
(整備済)

115 浄土川堤防整備
(整備済)

48 堤防整備
(整備済)

46 堤防整備
(整備済)

45 堤防整備
(整備済)

47 遊水地整備
(工事実施中)

44 遊水地整備
(工事実施中)

51 堤防強化(越水対策)
(整備済)

田んぼダム等の雨水貯留の活用

【最近の動き】



令和3年10月撮影



令和8年4月撮影

49: 小千谷市 木津地区 (信濃川 右岸)

【最近の動き(新潟県)】



令和4年6月撮影



令和7年6月撮影

42: 津南町 巻下・小島・押付地区 (信濃川 左岸)

116 堤防強化(越水対策)
(整備済)

117 河道掘削
(整備済)



【最近の動き】



令和5年6月撮影



令和8年6月撮影

47: 小千谷市 塩殿地区 (信濃川 左岸)

十日町市

43 堤防整備
(整備済)

41 堤防整備
(整備済)

40 堤防整備
(整備済)

38 堤防整備
(整備済)

37 堤防整備
(整備済)

42 堤防整備
(整備済)

39 堤防整備
(整備済)

【最近の動き】



53:長岡市 横下地区 (信濃川)

【最近の動き(新潟県)】



115:長岡市 今井地区 (浄土川)



【最近の動き】



56:大河津分水路改修事業 (大河津分水路)

凡例

- 浸水範囲
- ✕ 決壊箇所(国)
- ✕ 決壊箇所(県)
- 大臣管理区間
- 河川における対策
- ✕ 河川等災害復旧事業

流域における対策

- ため池等既存施設の補強や有効活用
- 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- 学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- 排水機場等の整備、耐水化の取組
- 防災拠点等の整備

ソフト施策

- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- 高床式住まいの推進
- マイ・タイムラインの普及
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 住民への情報伝達手段の強化